

「Team Noah GR Supra GT4」 地元オートポリスで 7 位ゴール



ENEOS スーパー耐久シリーズ 2023 supported by BRIDGESTONE に参戦する「Team Noah GR Supra GT4」は、7 月 29～30 日にオートポリス(大分県)で開催されたシリーズ第 4 戦「S 耐 スーパー耐久レース in オートポリス」の ST-Z クラスに参戦。激戦区の ST-Z クラス 8 台中 7 位でゴール。5 時間レースを完走したことで、シリーズ後半で戦うためのデータを多く収集した。

福岡に本拠を置く Team Noah(代表:清瀧雄二)は、“九州に元気を！九州のモータースポーツにもっとワクワクを！”を合言葉に九州のレーシングチームとして 2018 年より S 耐に参戦を開始。2021～22 年はホンダ・シビック TCR で、ST-TCR クラスチャンピオンを獲得した。今季はマシンを GT4 規定の GR Supra GT4 EVO へ替え、クラスも毎戦 10 台近くがエントリーする激戦区の ST-Z クラスへステップアップ。今回は熊本の塚田利郎、蘇武喜和、大分の小串康博、そして長崎の久保正孝と九州出身 3 名を含む計 4 名で 5 時間レースに臨むことになった。またこのレースからレインタイヤもブリヂストンを履くことになった。

今回の 5 時間レースに出走した車両は、7 クラス 41 台。ST-Z クラスは、GR スーブラ、新型 Z、ポルシェ・ケイマン、アウディ R8 と国内外の GT4 マシン 4 車種計 8 台となった。28 日朝に行われた専有走行では、エアコンのトラブルのために多くを走ることができず満足なセットアップを得るための時間が不足。それでも午後と 29 日朝のフリー走行では周回を重ね、セッティングを煮詰めることができた。29 日は晴れ/ドライのコンディション。公式予選は A、B ドライバー 2 名のベストタイム合算で争い、塚田と蘇武のタイム合算の結果、総合 13 位、クラス 6 位となった。また小串、久保も難なく基準タイムをクリアした。

30 日は朝から雨だったがやがて上がった。決勝レースの前に行われたウォームアップ走行はウェット路面だったものの、決勝レースまでにはほぼ乾き、11 時 3 分にレースがスタートした。まずは塚田がステアリングを握り慎重に周回。序盤は 21 号車アウディや 19 号車ポルシェとバトルを演じながら A ドライバーの義務周回時間 75 分を経過した 37 周でピットイン。ここで蘇武に交代し 8 位でコースへ戻った。蘇武はチームのベストタイムとなる 2 分 2 秒 311 をマークし、19 号車ポルシェをかわし追い上げを図った。

蘇武は 83 周でピットインしてオートポリスを熟知する小串に交代。富士 24 時間以来となる GR スーブラのドライブとなった小串は 7 位でコースに出るとポジションを守って周回。112 周で最後のピットインをしてアンカーの久保に交代した。一昨年の富士 24 時間以来のチーム合流となった久保は、初めての GR スーブラドライブでもあり、終盤に 21 号車アウディの GT ドライバーにかわされたものの、無事 5 時間を終えてチェッカー。総合 14 位、クラス 7 位で大きなトラブルもなく完走を果たした。今回は FCY(フルコースイエロー)導入のタイミングが合わず有効に利用することができなかったが、このレースでも新たな課題を見つけることができた。そしてそれを次戦以降へつなげていく。

次の第 5 戦は 9 月 2～3 日にモビリティリゾートもてぎ(栃木県)において、5 時間レースとして開催予定。

塚田利郎「今年はこれが最後のレースでした。今回もスタートを担当しましたが、スタートからスパートをかけるチームが多くて逃げられてしまいました。21 号車アウディとバトルができましたが、中盤以降はひとり旅でした。それでも速いスーブラの後ろで動きを観察することもでき、私たちに足りないものも見えて来ました。これをシリーズ終盤、そして来季につなげていきたいです」

蘇武喜和「予選の後に決勝のことを考えて大きくセッティングを変更したのですが、方向性は合っていましたが詰め切れていない部分もあり、対策しながら走りました。オートポリスはチームのホームコースで、いろいろなことを試せたので、収穫は今年の中で一番ありました。今年はチームもドライバーも勉強の年としていますが、これを今後につなげ表彰台を目指したいと思います」

小串康博「スーブラは富士 24 時間以来の 2 回目なので、今回はクルマに自分の走りを合わせることに専念したレースでした。レースの終盤ではオーバーステアになりましたが、ポテンシャルの高いクルマなのでこれから煮詰めていけば、九州チームも表彰台も狙えるクルマになると思います。残りの 3 レースでクルマをもっと煮詰めてもらい来年はもっと上を目指せるようにしたいです」

久保正孝「一昨年の富士 24 時間以来のチーム合流で、木曜日に初めてスーブラに乗りました。クルマに自分をアジャストして走つつもりだったのですが、前のクルマに詰まったりしてなかなか自分の思いどおりにはならなかったレースでした。レース終盤のきつい最後のスティントに乘せてもらったことは、いい経験になりましたし勉強になりました。またチャンスがあれば乗りたいです」